



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 中央紙器工業株式会社  
 コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務企画部長 (氏名) 前 賢太

TEL 052-400-2800

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日

配当支払開始予定日

平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,907	6.9	475	5.3	500	4.5	329	5.5
29年3月期第2四半期	5,525	△4.4	451	0.1	479	△0.5	312	0.6

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 372百万円 (106.3%) 29年3月期第2四半期 180百万円 (△29.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	66.37	—
29年3月期第2四半期	62.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,156	11,222	85.3
29年3月期	13,163	10,969	83.3

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 11,222百万円 29年3月期 10,969百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,250	4.8	950	1.5	1,000	8.0	620	10.6	124.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	5,225,008 株	29年3月期	5,225,008 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	258,022 株	29年3月期	258,022 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	4,966,986 株	29年3月期2Q	4,966,986 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、所得の伸び悩みなどの影響で個人消費は力強さを欠き、景気回復の実感が乏しい環境となりました。また、海外においては、米国の景気は雇用情勢や個人消費が堅調で着実に回復しているものの、北朝鮮を巡る緊迫した状態、世界各地で続くテロなどの不確実性要素により先行き不透明感は依然として強まっております。こうした世界情勢の中で、当社進出先であります中国については、経済成長を維持しつつも、その勢いは鈍化しております。

このような経済環境の中で、国内の段ボール需要については、通販・宅配向けを中心に、概ね全分野に渡り、前年を上回る水準で推移いたしました。

こうした状況下において、当社グループは、先に発表しました、3カ年の経営方針・重点実施事項の達成に向け、業務見直しによる「ムダ」を削ぎ落としたスリムな体制の整備、変化に柔軟に対応できる企業基盤の形成に努めました。

営業活動として、総合的な包装提案力を以って、既存のお客様への更なる深耕と新規獲得に注力し、全体としては、良品廉価のモノづくりを進めるため、原価低減に取り組んでまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、国内では主要取引先である自動車・電気機械関連を中心に売上増となり、中国においても原紙価格急騰への対策の効果が顕れ、結果として増収増益となり、売上高は59億7百万円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益4億75百万円（前年同四半期比5.3%増）、経常利益5億円（前年同四半期比4.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億29百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、売上高は49億34百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益4億62百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

中国においては、売上高は9億72百万円（前年同四半期比35.0%増）、セグメント損失32百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は99億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が39百万円減少したことによるものであります。固定資産は32億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、131億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

## （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13億円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億2百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、19億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億59百万円減少いたしました。

## （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は112億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億29百万円及び剰余金の配当1億19百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率85.3%（前連結会計年度末は83.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想は見直しを行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,238,521	7,199,272
受取手形及び売掛金	2,045,432	2,021,275
電子記録債権	450,380	441,734
商品及び製品	103,288	112,110
仕掛品	13,832	17,887
原材料及び貯蔵品	55,682	49,910
その他	79,155	85,162
貸倒引当金	—	△457
流動資産合計	9,986,292	9,926,896
固定資産		
有形固定資産	1,954,692	1,954,863
無形固定資産	31,052	43,237
投資その他の資産	1,191,143	1,231,857
固定資産合計	3,176,888	3,229,958
資産合計	13,163,181	13,156,854
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	853,968	751,543
未払法人税等	205,255	149,432
賞与引当金	125,005	111,479
役員賞与引当金	29,781	17,930
その他	301,599	270,401
流動負債合計	1,515,609	1,300,787
固定負債		
役員退職慰労引当金	96,300	46,670
退職給付に係る負債	528,115	534,505
その他	53,249	51,947
固定負債合計	677,664	633,123
負債合計	2,193,274	1,933,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	8,570,890	8,781,337
自己株式	△72,138	△72,138
株主資本合計	10,557,209	10,767,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374,554	438,869
為替換算調整勘定	38,142	16,419
その他の包括利益累計額合計	412,697	455,288
純資産合計	10,969,906	11,222,944
負債純資産合計	13,163,181	13,156,854

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,525,933	5,907,200
売上原価	4,076,835	4,402,609
売上総利益	1,449,098	1,504,590
販売費及び一般管理費	997,903	1,029,523
営業利益	451,194	475,066
営業外収益		
受取利息	991	1,176
受取配当金	15,578	17,316
仕入割引	3,900	3,821
その他	12,031	10,823
営業外収益合計	32,501	33,138
営業外費用		
持分法による投資損失	1,737	4,285
売上割引	204	179
ゴルフ会員権評価損	—	2,600
その他	2,527	493
営業外費用合計	4,469	7,558
経常利益	479,227	500,645
特別利益		
固定資産売却益	—	1,865
特別利益合計	—	1,865
税金等調整前四半期純利益	479,227	502,511
法人税、住民税及び事業税	155,616	154,774
法人税等調整額	11,066	18,082
法人税等合計	166,682	172,857
四半期純利益	312,544	329,654
親会社株主に帰属する四半期純利益	312,544	329,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	312,544	329,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,255	64,314
為替換算調整勘定	△72,380	△15,527
持分法適用会社に対する持分相当額	△43,483	△6,195
その他の包括利益合計	△132,119	42,590
四半期包括利益	180,424	372,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,424	372,245

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,805,510	720,423	5,525,933	—	5,525,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,805,510	720,423	5,525,933	—	5,525,933
セグメント利益又は損失(△)	461,985	△41,118	420,866	30,328	451,194

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額30,328千円には、セグメント間取引消去32,290千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,934,625	972,574	5,907,200	—	5,907,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,934,625	972,574	5,907,200	—	5,907,200
セグメント利益又は損失(△)	462,198	△32,715	429,482	45,583	475,066

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額45,583千円には、セグメント間取引消去49,959千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。



## 1. 当期（平成30年3月期 第2四半期累計）の連結業績

(1) 連結経営成績・・・今決算増収増益

(単位:百万円)

	当第2四半期 (29.4.1~29.9.30) (第67期)		前年同四半期 (28.4.1~28.9.30) (第66期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	5,907	100.0%	5,525	100.0%	381	6.9%
営業利益	475	8.0%	451	8.2%	23	5.3%
経常利益	500	8.5%	479	8.7%	21	4.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	329	5.6%	312	5.7%	17	5.5%
1株当たり 四半期純利益	66.37 円		62.92 円		3.45 円	

連結決算対象会社

- ・子会社 4社 (中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、  
香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・持分法適用会社 4社 (MC PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.、宏冠實業(香港)有限公司、  
澤邦發展有限公司、東莞宏冠包装印刷科技有限公司)
- ・売上高の連単倍率 1.2 倍

《増収要因》 国内において主要取引先である自動車・電気関連への出荷が増加したことにより売上増となり、また、中国においても原紙価格急騰への対策の効果が顕れ増収となった。

(新規顧客獲得 22社 167百万円)

・業種別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (29.4.1~29.9.30)		前年同四半期 (28.4.1~28.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	3,742	63.4%	3,685	66.7%	57	1.6%
電気機械関係	1,590	26.9%	1,330	24.1%	260	19.6%
食品関係	125	2.1%	143	2.6%	△17	△12.5%
その他	448	7.6%	367	6.6%	81	22.2%
合計	5,907	100.0%	5,525	100.0%	381	6.9%

・品目別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (29.4.1~29.9.30)		前年同四半期 (28.4.1~28.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段ボール製品	4,704	79.6%	4,312	78.0%	391	9.1%
(段ボールケースほか)	(4,472)	(75.7%)	(4,080)	(73.8%)	(392)	(9.6%)
(三層段ボールケースほか)	(231)	(3.9%)	(232)	(4.2%)	(△1)	(△0.4%)
その他(化成品ほか)	1,202	20.4%	1,212	22.0%	△10	△0.9%
合計	5,907	100.0%	5,525	100.0%	381	6.9%

## 《増減益要因：対前期営業利益》

増益要因	・ ・ ・ ・	259 百万円
	①製品価格変動、収益改善の効果	
	②売上増加による効果	
減益要因	・ ・ ・ ・	△236 百万円
	①購入品価格変動の影響等	
	②固定費の増	
営業利益		23 百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
平成30年3月期 第2四半期	13,156	11,222	85.3	2,259.51
平成29年3月期	13,163	10,969	83.3	2,208.56

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当率 (連結) %
	第2四半期末	期末	年間			
平成30年3月期 (予想)	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 40.00		32.0	
平成29年3月期	20.00	24.00	44.00	218	39.0	2.0

※平成29年3月期の期末配当は、創立60周年記念配当4円を実施しております。

## 3. 通期(平成30年3月期)連結業績予想

通期業績予想については、平成29年5月11日に公表したとおりです。

増収増益 予想

(単位:百万円)

	通期予想(平成30年3月期)		前期(平成29年3月期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	12,250	100.0%	11,685	100.0%	564	4.8%
営業利益	950	7.8%	935	8.0%	14	1.5%
経常利益	1,000	8.2%	925	7.9%	74	8.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	620	5.1%	560	4.8%	59	10.6%
1株当たり 当期純利益	124.82 円		112.83 円		11.99 円	

## 重点取組事項

## ◎変化に柔軟な会社となる。

- ①「ヒト」に優しい (安全・健康促進、労働環境改善、人材育成)
- ②「地域」に優しい (地域貢献活動)
- ③「環境」に優しい (トヨタ環境チャレンジ2050、働き方改革)



## ◎中長期3カ年方針

- ①国内事業のダントツ化 (足元固め…原価低減、リードタイム短縮、簡素化/標準化、人材育成)
- ②海外事業の展開 (中国事業の発展、海外新拠点の調査・検討)
- ③新規事業